

市営川坂団地 1 号棟・2 号棟解体工事に伴う

近隣家屋事前調査業務委託

1. 特記仕様書

---

2. 案内図

---

3. 調査対象家屋等区域図

---

4. 調査対象家屋等一覧

---

5. 相模原市環境方針

---

6. 情報の取扱いに関する特記事項

---

7. 相模原市ウィークリースタンス特記仕様書

---

相 模 原 市

# 市営川坂団地 1 号棟・2 号棟解体工事に伴う近隣家屋事前調査業務委託

## 1 特記仕様書

### 第 1 章 総則

#### 1-1 適用範囲

本特記仕様書は、相模原市（以下「発注者」という。）が実施する「市営川坂団地 1 号棟・2 号棟解体工事に伴う近隣家屋事前調査業務委託」（以下「本委託」という。）に適用する。

#### 1-2 目的

本委託は市営川坂団地 1 号棟・2 号棟解体工事による周辺家屋の損害の有無を確認する資料を得る目的で対象物件を調査するものである。

#### 1-3 委託範囲

本委託の作業範囲は、特記仕様書及び調査対象家屋等区域図に示す範囲とする。

#### 1-4 作業計画

受注者は、本委託の実施にあたっては、業務着手届・業務担当者届・業務工程表を発注者に提出すること。また、本委託の完了にあたっては業務完了届・納品書・成果品を、発注者に提出すること。

#### 1-5 適用する仕様書等

- 1) 地盤変動影響調査算定要領(中央用地対策連絡協議会)（以下「算定要領」という。）
- 2) その他監督員が指示する図書

#### 1-6 本特記仕様書、算定要領及び設計書の優先順位

本特記仕様書、算定要領及び設計書との間に相違がある場合には、本特記仕様書、設計書、算定要領の順に優先するものとする。

#### 1-7 契約金額の変更

家屋権利者の都合等により、調査家屋件数、範囲に変更が生じた場合には契約金額を変更する場合がある。また、調査結果により区分及び延べ面積が変更になった場合には、契約項目及び契約数量を変更する場合がある。契約金額の変更額については、発注者と受注者が協議の上決定するものとする。

#### 1-8 工期

本委託の工期は、契約日より令和 8 年 1 月 16 日（金）とする。なお、事前調査の現地での調査は、令和 7 年 10 月上旬を目途に完了させるものとする。

## 第2章 調査に関する事項

### 2-1 業務の概要

本調査は、市営川坂団地1号棟・2号棟解体工事の発注に伴い、解体建物（相模原市緑区中野1665番1）に近接する家屋に対して、工事着手前の現状把握を目的とした家屋事前調査を行うものである。

### 2-2 業務従事者の資格

本調査に従事する者（補助者を除く。）は、受注者に所属する者とし、業務従事者については次の資格のいずれかを有する者でなければならない。ただし、監督員がこれと同等の知識及び能力を有すると認めた場合はこの限りではない。

- ・ 建築士法（昭和25年法律第202号）第2条に規定する建築士
- ・ 補償業務管理士（社団法人日本補償コンサルタント協会の補償業務管理士研修及び検定試験実施規定第14条に基づく補償業務管理士登録台帳に登録されている者をいう。）

### 2-3 打合せ協議

打合せ協議とは、本調査の適正な執行を期するために必要となる監督員との協議のことをいう。

### 2-4 現地踏査

現地踏査とは、本調査の着手に先立ち現地の概況を把握するものをいう。

### 2-5 土地（建物）への立ち入り

受注者は、他人の占有する土地（建物）に立ち入る必要がある場合はあらかじめ当該土地（建物）の所有者または占有者にその旨通知するとともに承諾を得て、迷惑を及ぼさないように十分に注意しなければならない。

### 2-6 調査の区分

調査の区分は、次のとおりとする。

区分	単位	調査対象
木造建物A	棟	専用住宅、併用住宅、店舗、医院、診療所、共同住宅（アパート）、寄宿舍その他これらに類するもの
工作物	箇所	工作物の調査範囲内で建物の調査区域とした範囲は、工作物の調査面積から除くものとする。

また、延べ面積により次のとおり細分する。

区分	調査対象
木造建物A	70 m <sup>2</sup> 以上～130 m <sup>2</sup> 未満
木造建物A	130 m <sup>2</sup> 以上～200 m <sup>2</sup> 未満

工作物については、敷地面積により次のとおり細分する。

区分	調査対象
工作物	100 m <sup>2</sup> 未満
工作物	100 m <sup>2</sup> 以上～300 m <sup>2</sup> 未満
工作物	300 m <sup>2</sup> 以上～630 m <sup>2</sup> 未満

## 2－7 調査対象家屋

本調査の調査対象家屋は別添区域図及び調査対象家屋等一覧に示すとおりとする。なお、監督員が別途調査を指示した場合は、その指示によるものとし、費用については、発注者と受注者とで協議し定めるものとする。

## 2－8 報告の義務

本委託実施期間中においても、受注者は発注者に進捗状況を報告することとし、必要に応じて発注者に報告書を提出することとする。

## 2－9 損害賠償及び紛争

本委託遂行中の発注者の第三者に与えた損害及び第三者から受けた損害並びに紛争については、全て受注者の責任において処理し解決するものとする。

## 2－10 疑義

本仕様書に関する疑義については作業着手前に明確にしておく事とする。また、作業着手後に疑義が生じた場合には発注者の指示に従うこととする。

## 2－11 瑕疵等

受注者は、本委託の完了後といえども、受注者の過失に起因する不良な箇所が発見された場合は、速やかに発注者の必要と認める修正、補足その他必要な作業を受注者の負担において行うものとする。

## 2－12 秘密の保持

受注者は、本委託の遂行中に知り得た情報を発注者の許可なしに他に利用してはならない。

## 2－13 成果の帰属

本委託によって得られた全ての成果品は、発注者に帰属するものとする。また、受注者は発注者の許可なく複製または第三者に公表・貸与もしくは使用させてはならない。

## 2－14 成果品

本委託の成果品は、正 1 部、副 1 部を作成し、提出するものとする。

業務区分	成果品の名称	規格等
事前調査	調査区域位置図	1/5,000 又は 1/10,000
	調査区域平面図	1/1,000 又は 1/5,000
	建物等調査一覧表	

	建物等調査書	
	損傷調査書	
	写真集	

2-15 検査

本委託については、成果品納入後、発注者の検査に合格したことをもって完了とする。

2-16 その他

別紙「相模原市環境方針」を順守し、業務を行うこと。

2 案内図



3 調査対象家屋等区域図



4 調査対象家屋等一覧

建物番号	地番 (緑区)	構造	階数	面積(㎡)	用途	区分	備考
①	中野 字西川坂 1664 番 4	木造	2 階	109.71 ㎡	住宅	木造建物 A 70 ㎡以上 ～130 ㎡未満	
				53.28 ㎡		工作物 100 ㎡未満	
②	中野 字西川坂 1663 番 12	木造	2 階	95.98 ㎡	住宅	木造建物 A 70 ㎡以上 ～130 ㎡未満	
				101.55 ㎡		工作物 100 ㎡以上 ～300 ㎡未満	
③	中野 字西川坂 1663 番 11	木造	2 階	99.62 ㎡	住宅	木造建物 A 70 ㎡以上 ～130 ㎡未満	

				99.73 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 未満	
④	中野 字西川坂 1663 番 1	木造	2 階	107.73 m <sup>2</sup>	住宅	木造建物A 70 m <sup>2</sup> 以上 ～130 m <sup>2</sup> 未満	
				93.64 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 未満	
⑤	中野 字西川坂 1663 番 2	木造	2 階	124.06 m <sup>2</sup>	住宅	木造建物A 70 m <sup>2</sup> 以上 ～130 m <sup>2</sup> 未満	
				202.96 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 以上 ～300 m <sup>2</sup> 未満	
⑥	中野 字西川坂 1663 番 10	木造	2 階	105.30 m <sup>2</sup>	住宅	木造建物A 70 m <sup>2</sup> 以上 ～130 m <sup>2</sup> 未満	
				110.99 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 以上 ～300 m <sup>2</sup> 未満	
⑦	中野 字西川坂 1679 番 9	木造	2 階	154.43 m <sup>2</sup>	住宅	木造建物A 130 m <sup>2</sup> 以上 ～200 m <sup>2</sup> 未満	
				74.2 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 未満	
⑧	中野 字西川坂 1678 番 2 1679 番 3	木造	平屋	83.91 m <sup>2</sup>	自治会館	木造建物A 70 m <sup>2</sup> 以上 ～130 m <sup>2</sup> 未満	
				40.87 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 未満	
⑨	中野 字西川坂 1677 番 2	木造	平屋	184.79 m <sup>2</sup>	住宅	木造建物A 130 m <sup>2</sup> 以上 ～200 m <sup>2</sup> 未満	
				312.23 m <sup>2</sup>		工作物 300 m <sup>2</sup> 以上 ～630 m <sup>2</sup> 未満	
⑩	中野 字西川坂 1667 番 2	木造	2 階	132.19 m <sup>2</sup>	住宅	木造建物A 130 m <sup>2</sup> 以上 ～200 m <sup>2</sup> 未満	
				82.68 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 未満	
⑪	中野 字西川坂 1667 番 8	木造	2 階	81.97 m <sup>2</sup>	住宅	木造建物A 70 m <sup>2</sup> 以上 ～130 m <sup>2</sup> 未満	
				109.8 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 以上 ～300 m <sup>2</sup> 未満	

⑫	中野 字西川坂 1667 番 3	木造	2 階	127.35 m <sup>2</sup>	住宅	木造建物 A 70 m <sup>2</sup> 以上 ～130 m <sup>2</sup> 未満	
				79.08 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 未満	
⑬	中野 字西川坂 1666 番 6 1667 番 5	木造	2 階	132.9 m <sup>2</sup>	住宅	木造建物 A 130 m <sup>2</sup> 以上 ～200 m <sup>2</sup> 未満	
				256.87 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 以上 ～300 m <sup>2</sup> 未満	
⑭	中野 字西川坂 1666 番 1	木造	2 階	97.29 m <sup>2</sup>	住宅	木造建物 A 70 m <sup>2</sup> 以上 ～130 m <sup>2</sup> 未満	
				100.67 m <sup>2</sup>		工作物 100 m <sup>2</sup> 以上 ～300 m <sup>2</sup> 未満	

※調査対象建物のみを明示し、明示されていない建物番号は調査対象外とする。



## 相模原市環境方針

本市は、「相模原市環境基本条例」の基本理念に則り、望ましい環境像「人と自然が共生するまち～市民と築く、地域循環共生都市さがみはら～」を実現するため、事務事業の実施に当たり、以下のとおり、取組目標を設定し、継続的改善を推進します。

- 1 「相模原市環境基本計画」に基づき、環境関連施策を推進し、事務事業の実施に伴う環境負荷の低減を図ります。
- 2 地球温暖化対策や循環型社会の形成などを推進するため、再生可能エネルギー等利用設備の導入、省エネルギー機器の導入、公用車適正利用の推進、ごみの減量化・資源化の推進、資源・エネルギーの有効活用に取り組めます。

令和2年4月1日

相模原市長

### 【相模原市環境基本条例 基本理念】

- 1 環境の保全及び創造は、市民が健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる自然と調和の取れた豊かな環境を確保し、及び向上させ、並びに将来の世代へ継承していくことを目的として行うものとする。
- 2 環境の保全及び創造は、環境に関する資源の有限性を認識するとともに、その適正な管理及び利用を図り、もって環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築することを目的として行うものとする。
- 3 環境の保全及び創造は、市、事業者及び市民相互の協力の下に行うものとする。
- 4 地球環境保全は、人類共通の課題であるとともに市民の健康で安全かつ文化的な生活を将来にわたって確保する上で極めて重要であることから、積極的に推進するものとする。

## 〔情報の取扱いに関する特記事項〕

本業務委託において相模原市（以下「発注者」とする。）と受託者は、情報の取扱いに関して下記のとおり定めるものとする。

### （秘密等の保持）

第1条 受託者は、この契約による業務に関して知り得た情報の内容をみだりに他に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

### （情報の取扱い）

第2条 受託者は、この契約による業務を処理するため情報を取り扱う場合は、その取扱いにより個人または法人の権利利益を侵すことのないよう最大限努めなければならない。

### （再委託する場合の情報管理の徹底）

第3条 受託者は、発注者の承諾を得て第三者に再委託する場合は、第三者に対しても情報の管理を徹底させること。

### （収集等）

第4条 受託者は、この契約による業務を処理するため情報を収集する場合は、その目的を明確にし、目的達成のために必要最小限のものとしなければならない。

### （目的以外の使用禁止）

第5条 受託者は、この契約による業務を処理するため収集及び作成した情報、又は発注者から引き渡された情報に関する資料を本契約の目的以外に使用し、又は第三者に提供してはならない。

### （複写、複製の禁止）

第6条 受託者は、この契約による業務を処理するため発注者から引き渡された情報に関する資料を発注者の承諾なくして複写又は複製してはならない。

### （情報の保管）

第7条 受託者は、この契約による業務を処理するため発注者から引き渡された情報に関する資料をき損及び滅失することのないよう、当該情報の安全な管理に努めなければならない。

### （返還義務）

第8条 受託者は、この契約による業務を処理するため発注者から引き渡された情報に関する資料を委託業務完了後、速やかに発注者に返還しなければならない。

### （事故報告義務）

第9条 受託者は、この契約による業務を処理するため収集及び作成した情報、又は発注者から引き渡された情報に関する資料の内容を、漏えい、き損及び滅失した場合は、発注者に速やかに報告し、その指示に従わなければならない。

### （廃棄等）

第10条 受託者は、この契約による業務を処理するため収集、作成した情報を使用する必要がなくなった場合は、速やかに、かつ、確実に廃棄するものとする。

## 相模原市ウィークリースタンス特記仕様書

### (目的)

第1条 労働時間の上限規制やワークライフバランスの推進などの働き方改革を踏まえ、公共工事及び公共工事に係る委託業務を円滑かつ効率的に進めるために、一週間における受発注者間相互のルールやスタンスなどを目標として定め、計画的に履行することにより労働環境の改善を行い、工事目的物及び成果品の品質確保・向上及び担い手の育成・確保を図る。

### (取組の内容)

第2条 発注者は、以下の項目を例として受注者と取り組む内容を確認及び調整の上、設定する。

- (1) 月曜日(休日明け)を依頼の期限日としない
- (2) 水曜日は定時の帰宅に心掛ける
- (3) 土・日曜日に休暇が取れるよう金曜日には依頼しない
- (4) 昼休みや午後5時以降の打合せをしない
- (5) 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない
- (6) 16時以降の現地立会を行わない
- (7) 作業内容に見合った作業期間を確保する
- (8) その他、任意に設定する

### (運用方法)

第3条 発注者は契約後の初回打合せ時に、前条各号の内容について受注者と取り組む内容を確認し設定する。

2 受注者は前項の規定により設定した内容を施工計画書又は業務計画書に記載する。

### 附 則

この仕様書は、令和6年7月1日から施行する。